

ソニーマーケティング学生ボランティアファンド

このファンドは、ソニーマーケティング株式会社の提案により、日本初の全国の学生ボランティアを対象とする「ファンド」として2001年から始まり、当初よりボランティアセンターが事務局を担当している。7回目の募集となった今回は、前回に引き続き、Aコース（助成金25万円を上限）およびBコース（助成金10万円を上限）を設定し、2007年9月25日～11月16日に募集を行った。審査の結果、応募総数85団体（有効件数：84件）の中から、Aコース16団体、Bコース9団体の合計25団体が助成対象として決定した。大学別には、国立大学22大学、公立大学3大学、私立大学36大学の合計61大学から応募があった。

分野別の応募状況としては、これまでと同様に海外を含む国際支援活動への関心が高く、それぞれの切り口から支援対象国や地域の事情にあわせた継続的な活動の応募があった。国内を拠点とする活動では、環境・子ども・教育をテーマとする活動はもちろんのこと、草の根活動やジェンダー問題のようなテーマに取り組むものなどがみられた。本学からもBコースに3団体が助成対象として選ばれている。

このあと2008年6～7月に報告会が予定されている。前回の報告会で導入し好評を博した分科会を今回も実施し、各団体の活動内容発表のほか、情報交換と交流の場となることを期待している。

(武村)

NPO インターン・コラボ・プロジェクト

「NPO インターン・コラボ・プロジェクト」は（特活）NPO サポートセンター、（特活）NPO 支援センターちばがプロデュースし、（株）松下電器が特別協賛しているプログラムである。NPO 現場の実践力を活用し、NPO や企業も含め社会全体で学びの場を作っていくことを目的としている。関東全域の大学生が応募し、選考を経て参加者が決定される。昨年度に続き、ボランティアセンターでは説明会の開催や広報協力を行った。その結果、今回の参加者31名中、本学の学生は7名となった。

東京お台場にあるパナソニックセンターで7月31日に行われた第1回オリエンテーションと、12月15日に開催された最終報告会「働き方フォーラム こんな選択肢あったんだ！」には筆者も参加させていただいた。最終報告会では、プログラム参加者以外の本学生たちも参加し、他大学生、そして様々な現場で活躍する社会人パネリストの方々との貴重な交流の時を過ごし刺激を受けた。

当プログラムは非常に緻密に構成された中身の濃いものであり、参加学生からも好評である。実際に参加者は同プログラムへの参加をきっかけに大きく学生生活の幅を広げている。今後もプログラム事務局との関係を大切にしながら、本学の学生たちに積極的に参加してもらいたいと考えている。

(李)